

環境経営の推進

◆ 環境保護推進体制

NTT西日本グループでは、「環境保護活動を推進することは社会とともにある企業の社会的責任である」という考えのもと、「NTT西日本グループ地球環境憲章」を制定、2010年度には、新たに「生物多様性の保全」に関する項目を追加しました。

具体的な取り組み内容については、NTT西日本の環境経営推進室とグループ各社の環境担当が連携し、NTT西日本グループ内で環境方針や環境保護対策などを展開しています。

◆ 自主行動計画目標

NTT西日本グループは、「NTT西日本グループ地球環境憲章」に基づき、2020年度に向けた行動計画目標を掲げ、温暖化防止や廃棄物最終処分率低減に向けて、さまざまな取り組みを実施しています。

◆ 「環境グランドデザイン」(新たな自主行動計画目標)

NTT西日本グループでは、低炭素社会の実現と、循環型社会の形成に向けて、とくに電力削減量目標と紙使用量削減目標ならびに廃棄物最終処分率目標を「環境グランドデザイン」として策定しました。

NTT西日本グループでは、従来の自主行動計画目標が

2010年度で終了となったことを踏まえ、この「環境グランドデザイン」を新たな自主行動計画目標として位置づけ、取り組みを強化していきます。「環境グランドデザイン」で掲げる2020年度目標については下記の通りです。

NTT西日本グループ地球環境憲章

基本理念

人類が自然と調和し、未来にわたり持続可能な発展を実現するため、NTTグループ地球環境憲章に則り、NTT西日本グループはグループ会社と一体になって、全ての企業活動において地球環境の保全に向けて最大限の努力を行ないます。

基本方針

- 1 法規制の遵守と社会的責任の遂行
環境保全に関する法規制を遵守し、国際的視野に立った企業責任を遂行します。
- 2 環境負荷の低減
温室効果ガス排出の低減と省エネルギー、紙等の省資源、廃棄物削減に行動計画目標を設定し、継続的改善に努めます。
- 3 環境マネジメントシステムの確立と維持
各事業所は環境マネジメントシステムの構築により自主的な環境保護に取り組み、環境汚染の未然防止と環境リスク低減を推進します。
- 4 環境技術の普及
ICTサービス等の研究開発成果の積極的な社会への普及を通じて、環境負荷低減に貢献します。
- 5 社会支援等による貢献
地域住民、行政等と連携した、日常的な環境保護活動への支援に努めます。
- 6 環境情報の公開
環境関連情報の公開により、社内外とのコミュニケーションを図ります。
- 7 生物多様性の保全
生物多様性と事業との関わりを把握し、生物多様性を将来世代に引き継ぐために取り組みを推進します。

環境グランドデザイン(新たな自主行動計画目標)

<p>温暖化対策</p> <p>・2008年度と比較し、2020年度には総CO₂排出量を40%削減※1 (参考)2008年度のCO₂排出量は91万t※2</p>	<p>紙使用量削減</p> <p>・2008年度と比較し、2020年度には総紙使用量を40%以上削減 (参考)2008年度の総紙使用量は3.99万t</p> <p>・2008年度と比較し、2015年度には一人あたりの事務用紙使用量を50%以上削減 (参考)2008年度の一人あたりの事務用紙使用量は、0.99万枚</p>	<p>廃棄物最終処分率低減</p> <p>・2020年度には全廃棄物合計の最終処分率を1.0%(ゼロエミッション)※3に (参考)2008年度最終処分率は2.1%</p> <p>・撤去した通信設備廃棄物については、最終処分率0.1%を維持</p>
---	---	--

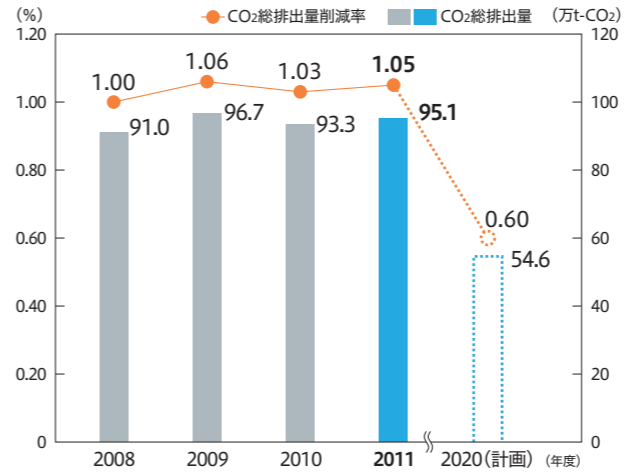
※1 電気事業連合会が東日本大震災前に公表した2020年度目標の排出係数0.33kg/kWhを用いて算出しています。今後、東日本大震災の影響等により排出係数の変更がある場合は、見直すことがあります。
 ※2 2008年度の実績については、電気事業連合会が公表している排出係数0.44kg/kWhを用いて算出しています。
 ※3 国連大学が提唱した構想で、産業から排出される全ての廃棄物や副産物がほかの産業の資源として活用され、全体として廃棄物を生み出さない生産をめざそうとするもの。NTT西日本グループでは、最終処分率1%以下をゼロエミッションと定義。

◆ 温暖化対策

NTT西日本グループのCO₂排出要因としては、電力使用・社用車使用・燃料(ガス・石油)使用があり、電力使用が要因の大半を占めています。

2011年度は2010年度に比べ電力使用量は減少したものの、原子力発電所停止によるCO₂排出係数の上昇によりCO₂排出量が昨年度に比べ上昇しています。

CO₂総排出量の推移



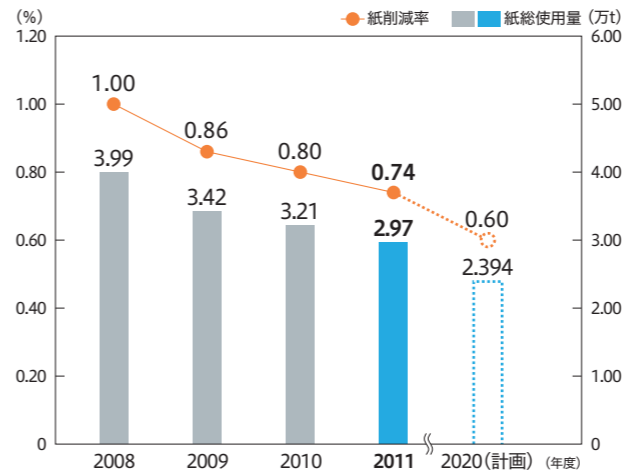
◆ 紙使用量削減

NTT西日本グループで使用する紙には電話帳、請求書、事務用紙、電報があります。

2011年度の総使用量は2.97万tで、内訳は電話帳2.40万t、請求書0.27万t、事務用紙0.25万t、電報0.05万tです。

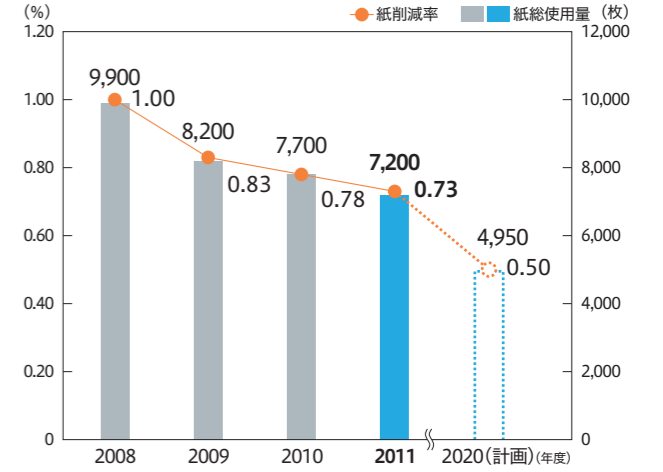
ペーパーレス会議の徹底や社内利用用紙のシステム化による徹底的な削減などを進めるとともに、お客さまのご協力

紙総使用量



を得ながら、書面でのご案内に代えてインターネットで請求額などを確認するMyビリング(Web明細サービス)への切り替えを促進しています。

一人あたりの事務用紙使用枚数



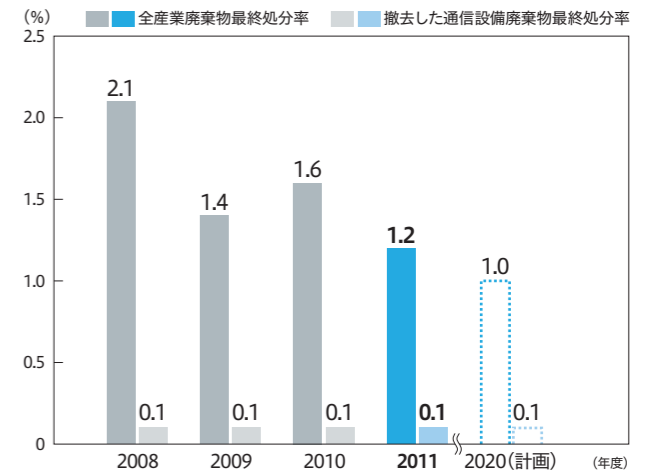
◆ 廃棄物最終処分率低減

産業廃棄物には、撤去通信設備廃棄物、土木工事廃棄物、建築工事廃棄物、オフィス内産業廃棄物が含まれています。

2011年度の産業廃棄物の最終処分率は1.2%、うち、撤去通信設備廃棄物の最終処分率0.1%、土木工事廃棄物の最終処分率1.6%、建築工事廃棄物の最終処分率1.7%、オフィス内産業廃棄物の最終処分率5.7%です。

撤去した通信設備廃棄物の最終処分率は低いものの、オフィス内産業廃棄物の最終処分率が相対的に高いため、調達時には、リユース・リサイクルが容易な環境に配慮されたオフィス用品の購入を促進していくよう配慮しています。

産業廃棄物最終処分率



「THE GREEN VISION 2020」にそった取り組み

NTTグループでは人類と地球が調和し、社会の持続可能な発展を実現するために、2020年度に向けた新たな取り組み方針をNTTグループ環境貢献ビジョン「THE GREEN VISION 2020」として策定(2010年11月)しました。NTTグループ環境貢献ビジョン「THE GREEN VISION 2020」では、「低炭素社会の実現」「循環型社会の形成」「生物多様性の保全」を未来にわたって取り組むべき3つの環境テーマとして位置付けています。

3つの環境テーマの達成に向けては、「Green of ICT」「Green by ICT」「Green with Team NTT」という3つのアクションにより取り組んでおり、ここでは代表的な取り組みについてご紹介させていただきます。

OF Green of ICT
事業活動にともない、排出される自社のCO₂排出量を削減する取り組み

NTT西日本が提供するネットワークサービスでは、さまざまな情報機器(ONU、CTU、VoIPアダプター、ホームゲートウェイ、ADSLモデムなど)がお客さま宅内に設置されています。ブロードバンド環境の普及にともない、それらの機器は飛躍的に増加しました。同時に、お客さまニーズに合わせ高速化・多様化が進み、サービス自体の需要サイクルが短命になることで、サービスに付随する機器が利用され

る期間も短くなるという結果を生んでいます。そうした状況を受け、NTT西日本グループが提供するネットワークサービスの情報機器リユース活動を強化し、資源の有効活用を推進しています。NTT西日本グループでは、このようなリサイクル活動を行うことにより、2011年度は約120万台の情報機器をリユースしました。

今後もさらに環境に配慮した取り組みを推進していきます。

さまざまなサービスやソリューションを社会に提供することにより、社会のCO₂排出量削減に貢献する取り組み **BY**

家庭向け省エネ支援サービスを提供する「NTTスマイルエナジーの設立」

NTT西日本は、低炭素社会の実現に向け、ICTを活用したサービスの提供などを通じ環境負荷軽減に取り組んできました。2010年にリリースした法人向けサービス「法人向けエネルギー見える化」ソリューションに続き、家庭向けに、株式会社NTTスマイルエナジーを2011年6月に設立し、太陽光発電の見える化・見守りサービス「エコめがね」を提供開始しました。また、同年7月27日に「エコフラワーサービス」が、国内クレジット制度排出削減事業(排出削減事業番号:JDCM-PG0035)として承認されました。これは「エコめがね」サービスにおいて、サービス参加者の所有する太陽光発電パネルにより生み出された排出権を価値化し、サービス参加者にエコグッズや環境保全活動への寄付などで還元するサービスです。

今後、NTT西日本グループでは「創エネ」「省エネ」に「蓄エネ」を加えたHEMS(Home Energy Management System)分野やスマートシティ分野などで、引き続き低炭素社会の実現に貢献する取り組みを図っていく予定です。



WITH Green with Team NTT
社員の家庭や地域活動において、CO₂排出量の削減や環境美化活動に貢献する取り組み

生物多様性と事業との関わりを把握し、生物多様性を将来世代に引き継ぐための取り組みを推進しています。NTT西日本グループでは、「植樹プロジェクト※1」「葵プロジェクト※2」を2011年より開始し、活動継続中です。

※2 NTT西日本グループ葵プロジェクト
里親として職場や社員の自宅で葵の苗木を生育し、その育てた苗木の一部を、世界文化遺産である上賀茂神社境内に植栽し、西日本エリアの世界文化遺産の保存に貢献する活動。



NTT西日本グループ植樹プロジェクト NTT西日本グループ葵プロジェクト

※1 NTT西日本グループ植樹プロジェクト
請求書のお客さまがMyビリングなどに切り替えた場合、紙削減量に見合った本数の苗木を大阪府堺市の産業廃棄物埋立跡地に植樹することで、請求書の紙削減、産業廃棄物埋立跡地の保全に貢献する活動。

事業活動に関わる環境負荷

西日本全域で事業を展開するNTT西日本グループは、事業規模も大きく、それだけに相当の環境負荷を与えています。例えば、お客さまの通話を可能とするためには、電話機、西日本全域に張り巡らされた通信ケーブル、および交換機などのネットワークが必要となり、それらに関する物流、工事、

運用、サービス、商品の提供といった事業活動には大きな環境負荷がともないます。

NTT西日本は、下図に示すマテリアルフローを定量的・定期的に把握し振り返ることにより、継続的な環境負荷の低減に役立てています。

